



茨城県立医療大学
保健医療学部
理学療法学科長
教授
松村 秩

理想的な枕の高さと堅さは、背筋をしっかりと伸ばして正しい姿勢で立った時の頭や頸や背中姿勢が、上向きに寝た場合にも保つことができることです。

「檜チップ枕」は、高さを自分に合わせて調節でき、しかも形が崩れず、適度な堅さなので快適です。また、通気性が良いので、熱がこもらず頭寒足熱効果も期待できます。さらに檜の香りで心身のリフレッシュ効果が得られます。

木曽檜の特徴

天然の木曽檜は腐朽しにくく狂いが少ないため、昔から建築材として活用されています。「日本書紀」には、特に檜が寺社、宮殿建築に使用されていたことが記述されています。木造建築では世界最古・最大の法隆寺、東大寺等はいずれも檜造りの代表です。伊勢神宮では天武天皇の時代以来、20年毎に遷宮が行なわれています。木曽檜がこれに使用されるようになったのは室町時代のこと。現在も木曽檜は木曽谷の山林で御神木として祭られ、悠久の時を越えその出番を待っています。

また、木曽檜は木目が緻密でやや赤みを帯びた淡黄色の美しさに加え、上品で成熟した香りを多量に含むため、香りのエッセンス「ヒノキオイル」の抽出材として利用される、大変貴重な素材です。

ここにご提案いたします檜本枕の主素材も、樹齢およそ300年成熟した天然木曽檜の香木を使用しております。

木曽木材生産事業
協同組合
理事長
青木 道一

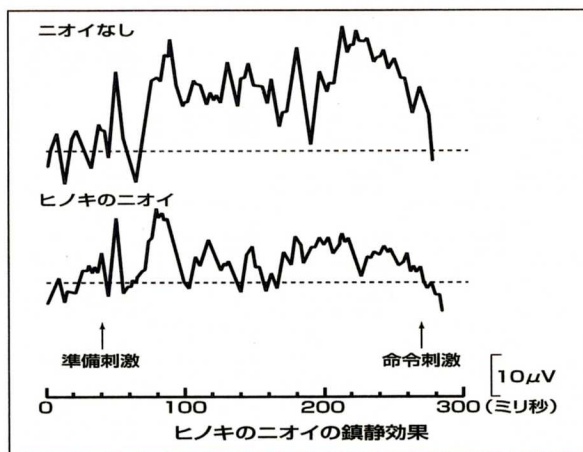
私ども木曽木材生産事業協同組合は「木曽谷中央部で古くから木曽檜の集散地上松町」に位置し天然木曽檜の択伐・間伐を始め管理・保護をしながら、我が子同様大切に育て今日に至っております。

組合で扱う天然木曽檜材は樹齢三百年以上と限る事から、主材は高級建築材などに。また、枝材も香りのエッセンシャル(ヒノキオイル)抽出材として活用され、余す事のない大変貴重な木材資源と言えます。

この様に丹精込め育てられた天然木曽檜材は檜本枕にも主素材として利用されております。

ヒノキのお風呂はなぜ気持ちいい？

千葉大学教授／木材加工学 **大釜 敏正**



森のなかの空気を吸うと気分が落ち着く。木材のニオイも成分が森のなかのそれと似ているのだから、同じ効果が期待できるのだろうか。随伴性陰性変動という脳波を指標にして、木材のニオイが人の気分になどどのような影響を及ぼすかについて調べてみた。ヒノキの結果を示したのが上図である。図の上はニオイを与えない場合、下がニオイを与えたときの脳波である。下の図のように、上の図に比べて波が基線のほうに近づくと、気分を落ち着かせるように、つまり鎮静的にニオイが作用したことを示す。図が示したヒノキの場合、ニオイのないときを基準にとると、おおよそ60%も脳波の振幅が減少する。したがって、ヒノキのニオイには気分を和らげる効果があることがわかる。

檜本枕(デラックスタイプ)



枕カバー: 紬風織り(綿100%)
サイズ: 43×63cm 重さ: 2.7kg